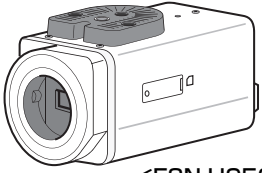


型名
ESN-H9500
ESN-H9300

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書（設置編）」（本書）と別冊の「安全上のご注意」、
「取扱説明書（IP設定編）」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に別冊
の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号
が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製
造番号が一致しているかをお確かめください。

取扱説明書（設置編）



<ESN-H9500>



<ESN-H9300>

本機の取り付け方は、裏面をご覧ください。

LST1413-001A

安全上のご注意

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、またはPoE（ESN-H9500）、PoE（ESN-H9300）を利用します。正しい電圧でお使いください。
AC24 Vは必ず一次電源から絶縁されたものをお使いください(ESN-H9500)。
定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかに
お買い上げ販売店へ連絡してください。
定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。
速やかにお買い上げ販売店へ連絡して点検(有償)を受けてください。

この取扱説明書の見かた

本書では本機の設置に関する操作を説明します。
以下の内容については、それぞれ該当する取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークの基本設定について・・・[取扱説明書（IP設定編）]（付属）
- 画像やネットワークなどの設定について・・・[取扱説明書（設定編）]*
- SDカードへの画像の記録/再生機能の設定について・・・[取扱説明書（SDカード機能設定編）]*
- ESN viewerの操作、設定について・・・[取扱説明書（ESN viewer操作設定編）]*

- * 付属品以外の取扱説明書および各種ツールは、下記WEBサイトよりダウンロードできます。
- [取扱説明書（設定編）](pdf)、[取扱説明書（SDカード機能設定編）](pdf)、[取扱説明書（ESN viewer操作設定編）](pdf)、[APIガイド](pdf)
 - [ELMO 検索ツール]、[ELMO IP設定ツール]、[MP4変換ツール]

http://www.elmosolution.co.jp/products/download/dl_nw_camera.html

本文中の記号の見かた

- ご注意**：操作上の注意が書かれています。
- メモ**：機能や使用上の制限など、参考になることが書かれています。
- 参照**：参照ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のために予告なく変更することがあります。
- 本書では、ESN-H9500/ESN-H9300の機能を紹介しています。また、ESN-H9500の機能の場合、文末に（ESN-H9500）と記載しています。

添付物・付属品

保証書	1	[取扱説明書（設置編）]（本書）	1
[安全上のご注意]	1	[取扱説明書（IP設定編）]	1

ケーブルについて

- AC24 Vと接続する場合の電源ケーブルについて（参考値）(ESN-H9500)

導体直径(mm)	φ 1.0以上	φ 1.6以上	φ 2.0以上
最大接続距離(m) (参考値)	90	240	370

ご注意

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 各種ケーブルは、必ずカメラ用の電源を切ってから接続してください。
- PoEとAC24 V電源を同時に使うことは故障の原因になります。必ずどちらか一方で電源を供給してください。

- LAN ケーブル(共通)

- ・HUBに接続する場合：
ストレートケーブルを使用してください。
- ・パソコンに接続する場合：
クロスケーブルを使用してください。
- ・ケーブルには、カテゴリー5以上のSTP（シールドケーブル）を推奨いたします。

ご注意

- ・パソコンによってはクロスケーブルを利用できない機種があります。本機をパソコンに接続する場合には事前にパソコンのLAN仕様をご確認ください。

- アラームケーブル(ESN-H9500)

- ・ケーブルには、長さ50 m以下のシールドケーブルを推奨いたします。

保証とアフターサービスについて

保証書について

保証書は販売店からお渡しします。
必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。
保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間	： お買い上げ日から	1年
------	------------	----

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品について

当社ではこの商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていたきます。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。
品名：フルHDネットワークカメラ
型名：ESN-H9500 / ESN-H9300
お買い上げ日：
故障の状況：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所、お名前、電話番号：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

	●長年ご使用の機器の点検をぜひ! 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。	
	このような症状はありませんか	●電源を入れても映像が出ない。 ●コードを動かすと通電しないことがある。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
	ご使用を中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

LST1413-001A

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 本機は屋内用カメラです。屋外で使用する場合は、ハウジングなどを使用してください。
- 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。
 - ・使用周囲温度(-10 ℃～50 ℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - ・許容動作湿度(20 %RH～90 %RH)範囲外の湿気の多いところ(結露なきこと)
 - ・変圧器やモーターなど強い磁器を発生するところ
 - ・トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ・ほこりや砂の多いところ
 - ・振動のあるところ
 - ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - ・厨房など蒸気や油分の多いところ
 - ・放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ
 - ・プールなど薬剤を使用するところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 熱のこもる場所に設置しない
本機は本体表面からも放熱を行っています。壁の近くなど熱のこもる場所に設置しないでください。

取り扱いについて

- 本機にぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ掛けたりしないでください。
過度の荷重がかかると、本機が落下してけがや事故の原因となります。
- 機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- 通風を妨げない
本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像・音声の著作権者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 被写体の権利(者) が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。
- 録画（録音）したものは個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

免責について

- 動き検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した損害に対する責任は一切負いません。
- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行ってください。
- 本機は柔らかい布でふいてください。
シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

その他

- 本機はAGC回路内蔵のため、AGCを"Mid"、"High"で使用したとき、暗い画像では感度が上がり、画面がざらついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- 本機ホワイトバランスを"ATW"（自動色温度追尾）に設定して使用したとき、被写体の状況により自動色温度追尾回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがあります。故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時"1/30" に設定しています。商用電源周波数50 Hzの地域で蛍光灯下（インバーター照明器は除く）では、ちらつき（フリッカ）を防ぐためフリッカレスモードに切り換えてご使用ください。
- 電子感度アップを動作させた場合、感度が上がるため画面がザラついたり、白点が増えることがありますが、故障ではありません。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって電源電圧が瞬間的に断たれる、もしくは低下した場合、画像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- マルチキャストを利用する場合は、IGMPv2に準拠したネットワークスイッチをご利用ください。
- インテリジェント機能搭載のHUB/Switchの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- 簡易デナイトまたはデナイトを動作させると、暗い場所では白黒画像となります。このとき、感度が上がるため、画面がざらついたり、白点が増えることがあります。また、カラー画像と白黒画像の切り換わり時に、画面の明るい部分が強調され見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機との接続に使用するLANケーブルはシールドケーブルの使用を推奨しています。シールドケーブル使用にて安全性・信頼性の確認を行っています。
- ハロゲンランプや電球など赤外線成分が強い光源では黒色の被写体が紫に近い色に映ることがありますが、本機の特性によるもので故障ではありません。
- 統合ビューワー視聴時に映像と音声が入る場合がありますが、故障ではありません(ESN-H9500)。
- レンズを直接太陽光などの強い光源に向けしないでください。光が焦点に集まって、火災や故障の原因になることがあります。

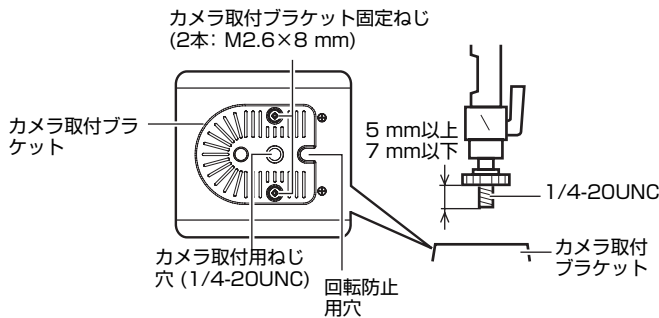
本機を取り付ける

ご注意

- 本機を設定する場合は、専門技術が必要となります。設置は、販売店にご依頼ください。
- 本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分にご注意ください。
- 設置説明に従わない不完全な取り付けによって、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねます。設置は十分に注意して行なってください。
- 取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。
- 本機を天井に取り付ける場合、本機の質量（ESN-H9500：約360g/ESN-H9300：約340g）を支えられる十分な強度をもった場所に取り付けてください。十分な強度をもっていない場所に取り付ける場合は、設置前に天井への補強を必ず行なってください。
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。
- 取付ねじやナットでの締め付けが不十分だと本機が落下する原因となります。締め付けは適正かつ確実に行ってください。
- スポットライトなど、高温になる照明器具の近くに設置しないでください。故障や火災の原因となります。

本機をフィクサーや回転台などに取り付ける

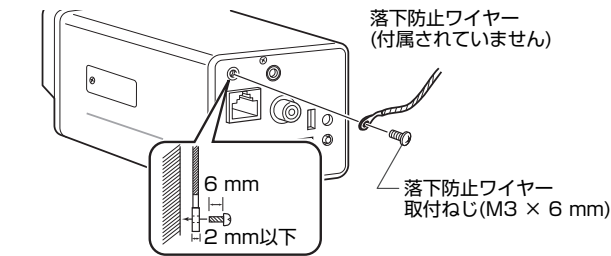
本機をフィクサーや回転台などに取り付ける場合は、カメラ取付ブラケットにあるカメラ取付用ねじ穴（1/4-20UNC）を使用します。高所に取り付ける場合は、落下防止ワイヤーを背面部の落下防止ワイヤー取付ねじに取り付けてください。



ご注意

- ねじは確実に固定してください。
- カメラ取付ブラケット固定ねじの長さは取り付け面より5 mm以上7 mm以下のものを使用してください。指定の長さより長いねじを使用すると、内部を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

落下防止ワイヤーを取り付ける



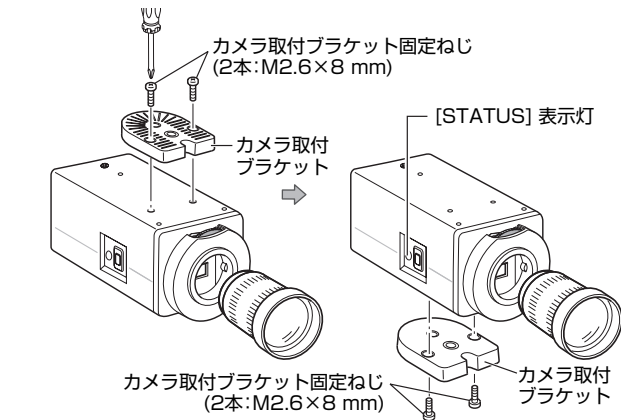
ご注意

- 落下防止ワイヤーは、長さ・強度などを十分考慮したものを使用してください。材質は絶縁材を使用してください。長さは取り付け可能な範囲で短くしてください。強度は本機質量およびレンズとフィクサーの総重量に十分に耐えるものを使用してください。(ワイヤー端の処理にも注意してください)
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のねじを利用してください。
- 落下防止ワイヤーは落下防止ワイヤー取付ねじで固定してください。落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のねじ（M3 × 6 mm）を利用してください。本機背面のねじを使用しない場合は、指定の長さ（M3 × 6 mm）より長いねじを使用すると、本機内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

本機の下面にカメラ取付ブラケットを取り付ける場合

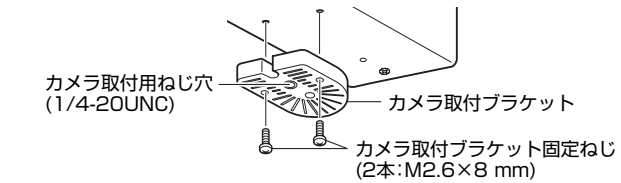
メモ

- 出荷時カメラ取付ブラケットは本機上面に取り付けられています。下面に付け換える場合は、カメラ取付ブラケット固定ねじ2本をはずして付け換えます。



ご注意

- カメラ取付ねじは、8 mm以下のものを使用してください。指定の長さより長いねじを使用すると、内部を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。



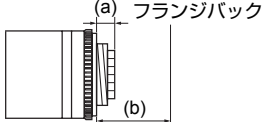
レンズを取り付ける

ご注意

- メガピクセル対応のレンズをご使用ください。
- 1 レンズ取り付け前に使用レンズのマウント方式を確認する
 - ESN-H9500はCSマウント専用です。
 - 下図に示すレンズ取付部分の寸法 (a) は下表に示した値のものを使用してください。

レンズ	レンズフランジバック (b)	寸法 (a)
CSマウントレンズ	12.5 mm	5.5 mm以下

- 寸法 (a) が長いものはカメラ内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。



- 2 レンズを時計方向に回してカメラにしっかり取り付ける
- 3 DC IRISレンズの場合、レンズケーブルを本体側面のIRIS端子に接続する

メモ

- VIDEO IRISレンズは使えません。
- レンズケーブルのプラグが異なる場合は、4ピンプラグを使用して接続します。[4ピンプラグ品番: SCV2859-001]
- 4ピンプラグについては、販売店にお問い合わせください。

ケーブルを接続する

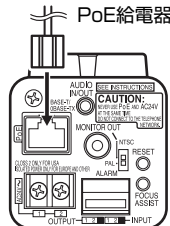
電源を接続する

PoEを利用する場合

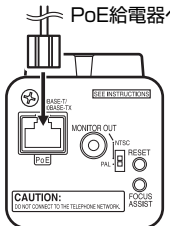
- 電源はLANケーブルから供給します。PoE給電器を接続してください。
- 電源が供給されると、本機側面の[STATUS]表示灯が起動中はオレンジ色、起動後は緑色に点灯します。

メモ

- 運用中点灯している[STATUS]表示灯を点灯させない設定もできます。設定については、[取扱説明書(設定編)]を参照ください。
- 100BASE-TXをご使用の場合は、カテゴリ5以上のケーブルを推奨いたします。
- PoE給電器は、接地を確実にし、お使いください。



ESN-H9500



ESN-H9300

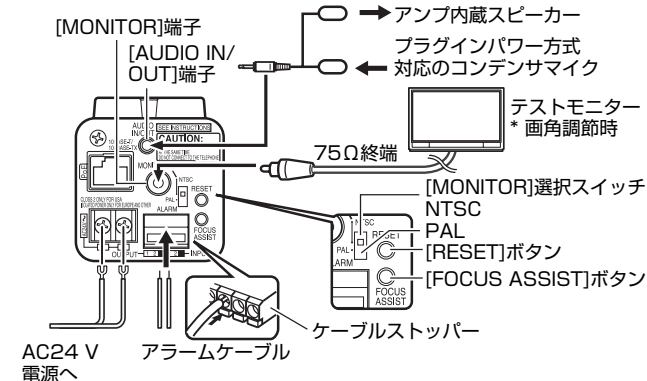
AC24 V電源を接続する場合(ESN-H9500)

- 電源が供給されると、側面部の[STATUS]表示灯が点灯します。

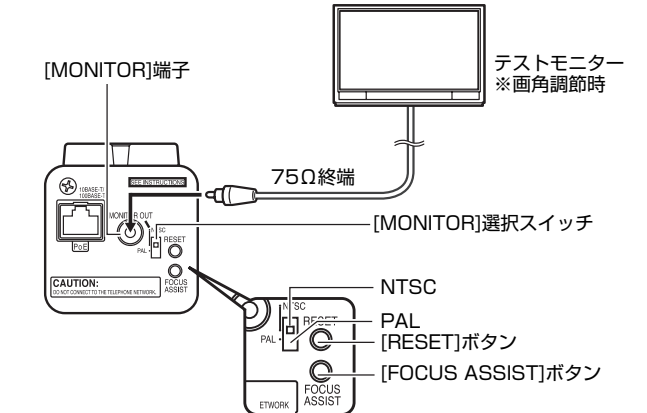
ご注意

- 必ず一次電源回路から絶縁されたAC24 Vを使用してください。スライダックなどを使用すると本機やシステムの故障・破損の原因となります。
- PoEとAC24 V電源を同時に使うことは故障の原因になります。必ずどちらか一方で電源を供給してください。

ESN-H9500



ESN-H9300



メモ

- モニター出力映像の縦横比は、16:9です。映像を確認するテストモニターの縦横比が4:3の場合、カメラ映像の縦横比を4:3に変換して映像が表示されます。

同軸ケーブルにモニター映像信号出力端子を接続する

[MONITOR]端子にテストモニターを接続します。本機設置時の画角調節や、フォーカスアシストモードでフォーカスを調節する場合に使用します。ビデオケーブル(RCA)でビデオモニターなどと接続します。PAL用のモニターで見える場合は、[MONITOR]選択スイッチを"PAL"に切り換えたあと、[RESET]ボタンを押して再起動してください。

ご注意

- ケーブルが長いほど信号が減衰するため、解像度が低下し、ノイズがふえます。取り付けの際には、減衰量の少ないケーブルの利用を推奨いたします。
- [RESET]ボタンを5秒以上押し続けると、サービスモードになりますので、5秒以上押し続けないでください。

オーディオケーブルを接続する(ESN-H9500)

ミニジャックステレオケーブル(Φ3.5 mm)を[AUDIO IN/OUT]端子に接続します。オーディオケーブルの詳細については、[オーディオケーブルの接続](P.4ページ)をご覧ください。

アラーム入出力端子を接続する(ESN-H9500)

ご注意

- 外来の雑音などにより、長さ50 m以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行ってください。
- アラーム端子のケーブルストッパー部は、はずれることがあります。ケーブルの取り付けは、ゆっくり確実に行ってください。

電源を入れる

接続と取り付けがすべて終了した後、機器の電源を入れてください。起動中は[STATUS]表示灯がオレンジ色に点灯し、起動後は緑色に点灯します。

映像を調節する

実際の映像を見ながら画角・フォーカス調節をします。

ご注意

- カメラ本体を触る前に必ずモニター端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。
静電気により本機が故障する場合があります。

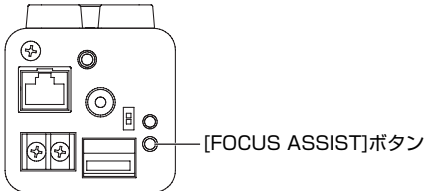
カメラの撮影方向を調節する

撮影したい方向にカメラを向けます。

ご注意

- カメラの撮影方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

画角とフォーカスを調節する



1 被写体を撮影し [FOCUS ASSIST] ボタンを押す

- フォーカスアシストモードになり、[STATUS]表示灯が緑色とオレンジ色の点灯を繰り返します。

2 レンズのフォーカスを調節する

ESN-H9300

- プラスドライバを使用してバックフォーカスの固定ねじをゆるめます。
- 撮影する被写体より遠くにある細かい構造を撮影します。
- カメラをパソコンに接続し、統合ビューワーを開きます。
 - パソコンの設定、カメラとの接続の方法については、[取扱説明書 (IP設定編)]をご覧ください。
- 詳細設定の[メンテナンス]ページの[レンズタイプ]を選択します。
 - レンズタイプの詳細は、[取扱説明書 (設定編)]をご覧ください。
- バックフォーカスを調節します。

固定フォーカスレンズの場合

- レンズのフォーカスリングを∞位置にします。
- バックフォーカス調節リングを回し、フォーカスの調節を行います。

ズームレンズの場合

- レンズを望遠位置にズームし、レンズのフォーカス調節リングを回し、フォーカスを調節します。
- レンズを広角位置にズームし、バックフォーカス調節リングを回し、フォーカスを調節します。

- バックフォーカスの固定ねじを回して締め、確実に固定します。

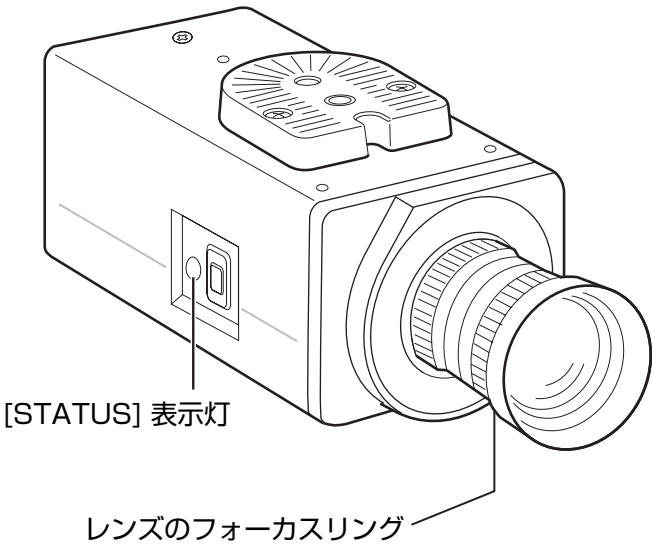
ESN-H9500

- レンズのフォーカスリングを回し、フォーカスの調節を行います。
- 調節が終わったらレンズのフォーカスを固定します。
- [FOCUS ASSIST]ボタンを押し、フォーカスアシストモードを解除します。
- カメラをパソコンに接続し、統合ビューワーを開きます。
 - パソコンの設定、カメラとの接続の方法については、[取扱説明書 (IP設定編)]をご覧ください。
- 詳細設定の[メンテナンス]ページの[レンズタイプ]を選択します。
 - レンズタイプの詳細は、[取扱説明書 (設定編)]をご覧ください。
- 詳細設定の[フォーカス]ページの[デフォーカス調整]を実行します。
 - バックフォーカス位置が自動で調節されます。
バックフォーカスの位置を調節することでフォーカスの微調節を行います。
 - バックフォーカスの詳細は、[取扱説明書 (設定編)]をご覧ください。

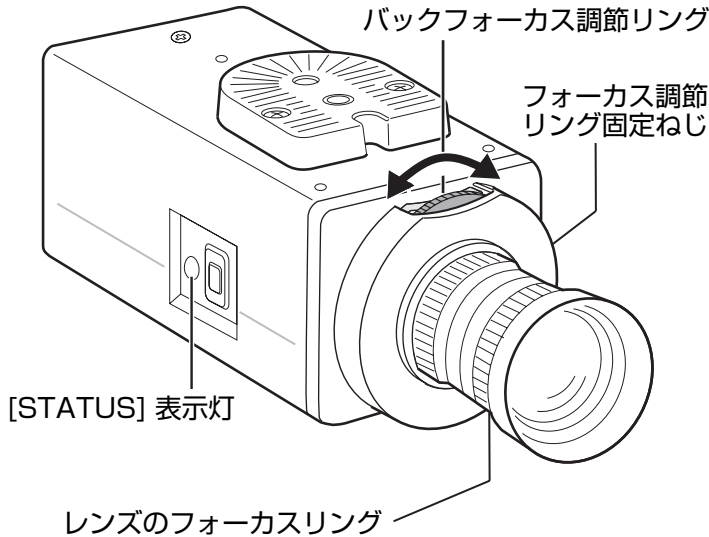
ご注意

- 次のような場所を撮影する場合はフォーカスを自動で合わせにくいことがあります。
 - 極端に明るい場所
 - 極端に暗い場所
 - 明るさが常に変化している場所(人が画面を横切るなど)
 - コントラストがほとんどない場所
 - 繰り返しの縦じまパターンがある場合
- フォーカス位置は、カメラと接続するパソコンの統合ビューワーから手動調節することもできます。(※[取扱説明書 (設定編)]) 自動で合わせにくい場合に、お使いください。
- フォーカスの自動調整を実行した後別のレンズに交換した場合は、[フォーカス]ページのバックフォーカス位置初期化を実行した後、手順1からフォーカス調節を行ってください。
- 自動調整でフォーカスがあいにくい場合は、[フォーカス]ページのマニュアルフォーカスを実行し、手動で最適な位置にフォーカスを調節してください。
- ズームレンズをお使いの場合は、レンズのフォーカスを合わせた後、ズームの範囲内で最適になるよう、マニュアルフォーカスでフォーカスを調節してください。

ESN-H9500



ESN-H9300



オーディオケーブルの接続 (ESN-H9500)

ミニジャックステレオケーブル(Φ3.5) を接続します。

Rチャンネル(マイク入力)： プラグインパワー方式対応のコンデンサマイクなどと接続します。
Lチャンネル(ライン出力)： アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

ご注意

- 外部マイクは、必ずRチャンネルのみに接続してください。マイクのジャックをそのまま本体の[AUDIO IN/OUT]端子に差し込んで使用すると、大きなノイズが発生することがあります。

メモ

- オーディオケーブルには、シールドケーブルを推奨いたします。
※オーディオケーブルの接続箇所は、[ケーブルを接続する] (※2ページ)をご覧ください。

アラームケーブルの接続 (ESN-H9500)

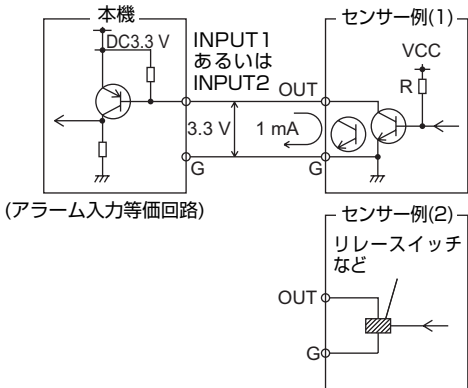
アラーム入力

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メニュー設定で接点がショート (MAKE) 時にアラームとするか、接点がオープン (BREAK) 時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも500 ms以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

● 入力条件

- 無電圧a接点またはオープンコレクター出力回路を接続 (極性の設定方法は、[取扱説明書 (設定編)]をご覧ください。)
- ローレベル端子電流 1 mA以下
- ハイレベル端子電圧 3.3 V



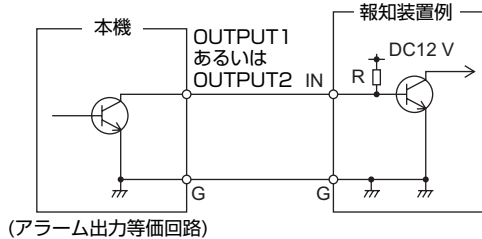
アラーム出力

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

- アラーム出力信号はオープンコレクター出力です。メニュー設定で接点がショート (MAKE) 時にアラームとするか、接点がオープン (BREAK) 時にアラームとするか設定可能です。(耐圧16 V、30 mA以下)
- この端子は、極性があります。必ずー側出力より＋側出力の電圧が高くなるよう接続してください。逆電圧を加えると破損します。

● 出力条件

- NPNオープンコレクター出力相当 (出力論理の設定方法は、[取扱説明書 (設定編)]をご覧ください。)
- 許容印加電圧： DC16 V以下
- 許容流入電流： 30 mA
- モーメンタリ(100 ms～5000 ms)出力 (時間の設定方法は、[取扱説明書 (設定編)]をご覧ください。)



ご注意

- 本機G端子ケーブルと報知装置のGNDを接続してください。

※ アラームケーブルの接続については、[ケーブルを接続する] (※2ページ)をご覧ください。

こんなときは

症状	原因と対応
ネットワーク画像の動きがぎこちない	<ul style="list-style-type: none">モニター画像の出力設定がONの場合、ネットワーク画像のフレームレートは低い設定となります。モニター画像出力をOFFにし、フレームレートを再度設定してください。(🔍[取扱説明書（設定編）] → 「Internet Explorerを使った設定」 – 「エンコードページ」)
モニター画像が出力されない	Internet Explorerによる設定でOFFになっていませんか？ モニター出力設定をご確認ください。
外部マイク音声聞こえない	<ul style="list-style-type: none">マイクとの接続をご確認ください。音声の設定がOFFになっていませんか？ (🔍[取扱説明書（設定編）] → 「音声ページ」)
レンズのフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none">CSマウントのレンズを確認してください。バックフォーカス位置初期化を行った後 (🔍 [取扱説明書（設定編）] → 「フォーカス調整ページ」)、再度フォーカス調節を行ってください。(ESN-H9500)バックフォーカス調節リングをを回し、フォーカスの調節を行います。(ESN-H9300)

memo

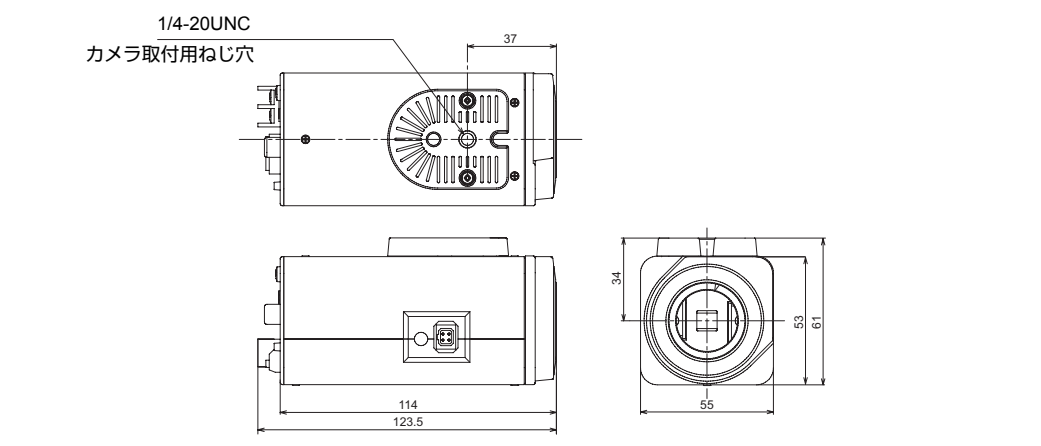
仕様

* 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

		ESN-H9500	ESN-H9300
カメラ部	撮像素子	1/3 型正方画素プログレッシブスキャン方式CMOS(原色フィルタ)	
	有効画素数	約2,120,000 画素、1944(H) × 1092(V)	
	レンズマウント	CS マウント	
	適合レンズ	弊社カタログ参照	
	最低被写体照度	(F1.2、50 %、AGC High、1/30 s) カラー：0.3 lx (typ.) 白黒：0.03 lx (typ.)	
モニター出力		75 Ω、1.0 Vp-p、NTSCまたはPAL (スイッチ切換)	
音声入力	入力	ミニジャック(φ3.5ステレオRch)、プラグインパワー方式のマイク接続可能	-
	基準電圧	DC2.47 V(typ.)	-
	インピーダンス	2.2 kΩ(typ.)	-
音声出力		ライン出力(200 Ω、最大1.9 Vp-p)、ミニジャック(φ3.5ステレオLch)	-
ネットワーク出力	画像圧縮フォーマット	JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile、MPEG-4	
	フレームサイズ	1920 × 1080 1280 × 960 1280 × 720 640 × 480 640 × 360 320 × 240	
	音声圧縮フォーマット	μ-Law(64 kbps)、AD/DA 16ビット、Fs = 8 kHz、モノラル	-
	ネットワークインターフェース	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T/FULL/HALF/オートネゴシエーション対応	
アラーム入力		無電圧a接点入力、PNPオープンコレクター入力、ローレベル、ラッチ/モーメンタリ(500 ms以上)(ローレベル時回路電流1 mA、ハイレベル時印加電圧3.3 V)	-
アラーム出力		NPNオープンコレクター出力(許容印加電圧DC16 V許容流入電流30 mA)	-
アラーム記録		16 MB	
レンズ	焦点距離	-	
	最大口径比	-	
	絞り範囲	-	
	ズーム比	-	
LAN規格	規格	IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3af準拠	
	通信プロトコル	TCP/IP、UDP/IP、FTP、ICMP、ARP、DHCP、SNTP、HTTP、SMTP、RTP、RTSP、IPv4、IPv6、DSCP、HTTPS	
総合	電源電圧	AC24 V 50 Hz/60 HzまたはPoE (DC-48 V)	PoE(DC-48 V)
	消費電流	AC24 V 0.5 A、PoE 150 mA (7.2 W)	120 mA
	周囲温度	-10℃～50℃(動作) 0℃～40℃(推奨)	
	周囲湿度	20 %RH～90 %RH(結露なきこと)	
	質量	約360 g	約340 g

ESN-H9500

外形寸法図(単位：mm)



ESN-H9300

外形寸法図(単位：mm)

